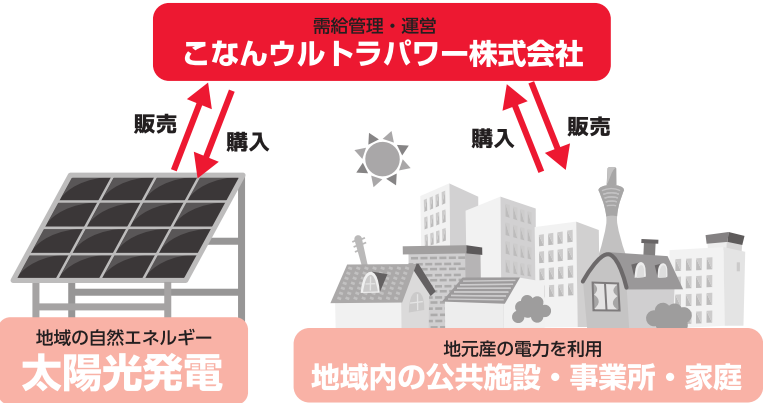


自然エネルギーで地域を元気に!

地元の電力を地域内で利用することで、資金が循環します



こなんウルトラパワー株式会社は、一般の家庭や商店・事務所などに低圧電気の販売を開始しました。月の使用量が350kWh以上の家庭や500kWh以上使う店舗や事業所にはお得なプランです。

こなんウルトラパワー
お申し込みはWEBで
<https://konan-ultra.de-power.co.jp>

電話での問い合わせは
☎0120・326・230
午前9時～午後7時(日曜・祝日を除く)

コナン市民共同発電所 2月の発電結果

初号機 発電量: **1,584kWh**
バンバン発電所 売電額: **69,696円**
設備容量 20.8kW

一般家庭 約5軒分

貳号機 発電量: **7,171kWh**
甲陸発電所 売電額: **315,524円**
設備容量 105.6kW

一般家庭 約23軒分

参号機 発電量: **1,058kWh**
十二坊温泉 売電額: **37,241円**
ゆらら発電所 設備容量 16.3kW

一般家庭 約3軒分

四号機 発電量: **1,958kWh**
柑子袋まづくり 売電額: **68,921円**
センター発電所 設備容量 23.6kW

一般家庭 約6軒分

※1軒あたり月間電力使用量=300kWhで換算

谷畑市長の まちづくり 最前線レポート No.160

新型コロナウイルス感染症対策は、4月7日に政府対策本部長である首相が「緊急事態宣言」をし、7都府県で緊急事態措置が発令されました。

湖南市では、8日に小中学校の入学式と始業式を感染防止措置を行いながら挙行しましたが、県内で感染経路不明の感染者が増えてきたため、11日から5月6日まで再び臨時休業措置としたところです。

9日には上京して岸田文雄自民党政調会長に地域の実情を直接伝え、さまざまな対策の迅速な推進を求めました。

16日には全国が緊急事態措置の対象区域となったため、本市も特定市町村となり、基本的対応方針を策定して取り組んでいるところです。

今や、国を挙げてのウイルスとの戦いが求められています。市役所も職員を半数の出勤として感染防止に努めています。

このウイルスは、感染すると80%

は軽症(40度近い高熱が出る人もいます)ですが、15%は人工呼吸器を必要とし、5%は人工肺が装着される重症となり、亡くなる人もあります。しかし、感染症に対応した病床が少ないため、感染者が増えた場合、他の病気の患者に手が回らなくなり、医療崩壊を起こすリスクが近づいています。

高齢者や基礎疾患のある人が重篤化しやすいとされますが、感染者が増えれば、院内感染防止のため、感染していない人でも呼吸器科や歯科の治療を受けることが難しくなります。

自分くらいは、ということではなく、社会全体で医療機関を守る必要があるのです。

37.5度以上の発熱が続いたり、匂いや味を感じられなくなったりしたときには、感染を疑い、帰国者・接触者相談センターへ電話で相談してください。くれぐれも病院や診療所に直接行かないようお願いいたします。

また、スーパーやドラッグストアなどで、マスクやトイレットペーパー、消毒薬がないと店員に詰め寄る場面が見かけられましたが、デマに踊らされず、冷静な対応をお願いします。

特別定額給付金の準備も進めています。

長期戦になりますが、ともに頑張ってください。